

# 2014年3月期 第1四半期連結業績概要

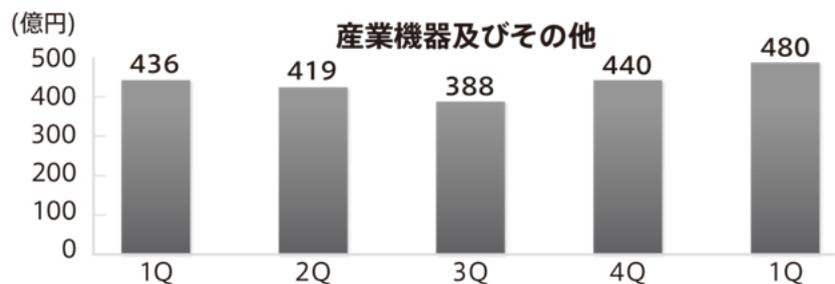
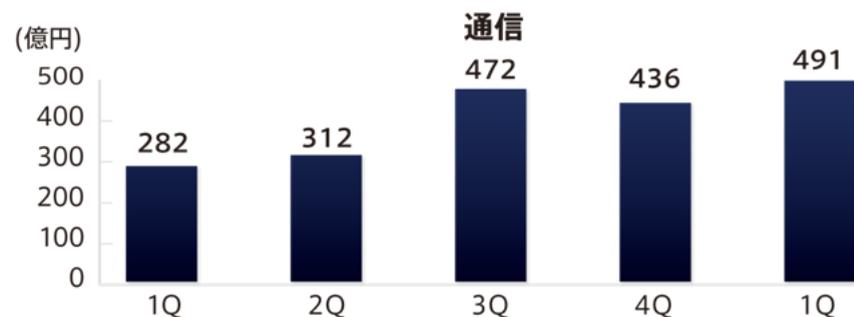
執行役員  
桃塚 高和

# 2014年3月期 第1四半期連結業績概要



(億円)	2013年3月期 第1四半期	2014年3月期 第1四半期	対前年同期比	
			増減	増減率(%)
売上高	2,087	2,365	279	13.4
営業利益	92	40	△ 52	△ 56.8
営業利益率	4.4%	1.7%	△3.0pt	-
税引前利益	88	45	△ 43	△ 48.9
当期純利益	45	4	△ 41	△ 91.7
1株当たり利益(円)	35円52銭	2円96銭	-	-
為替	対ドルレート	80円27銭	98円74銭	23.0%の円安
	対ユーロレート	103円18銭	128円96銭	25.0%の円安
為替変動による 影響金額	売上高：約400億円の増収 営業利益：約59億円の増益			

- ◆ 連結売上高は前年同期比13.4%増、営業利益は56.8%減
  - 自動車及び産業機器市場向けの売上は、前年3Qをボトムに増収基調が継続
  - 受動部品は6四半期ぶりに黒字転換
    - ・ 自動車、産業機器、通信機器市場向け売上の増加(\*)
    - ・ セラミックコンデンサを中心とした構造改革効果及び円安メリット
- 磁気応用製品の連結売上高は前年同期比2.3%減、営業利益は68.5%減
  - ・ HDD用ヘッドの需要減少（前年同期はタイ洪水からの回復期）
  - ・ マグネットの売上がレアアース価格下落の影響等により大幅減少

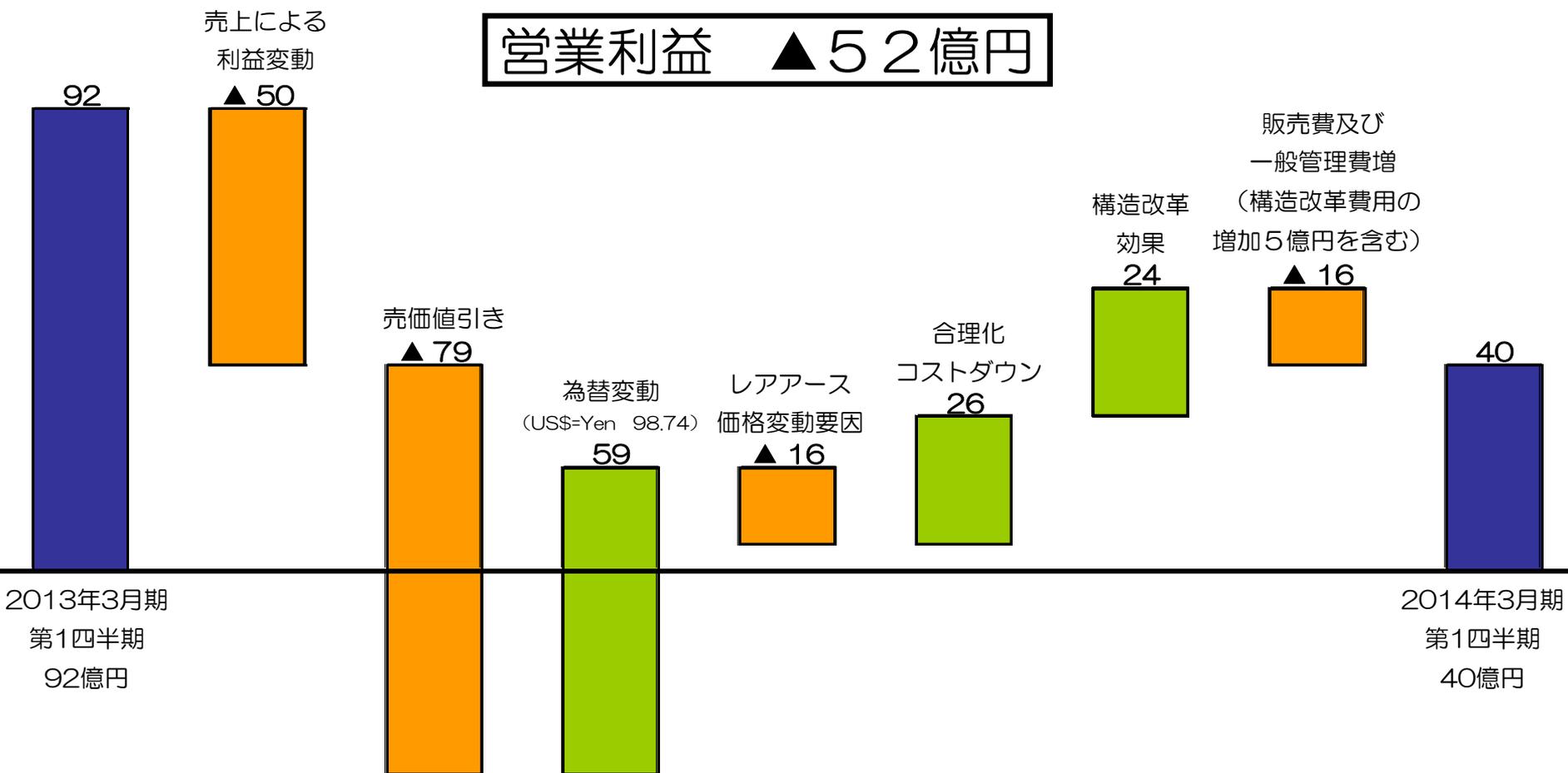


(\*) 分野別売上高推移についての詳細は18~21ページに掲載しています

# 営業利益増減分析

(単位：億円)

営業利益 ▲ 52億円



# セグメント情報 四半期比較 (前1Q vs. 1Q、前4Q vs. 1Q)



(億円)		2013年3月期 第1四半期 2012年4月~6月 (A)	2013年3月期 第4四半期 2013年1月~3月 (B)	2014年3月期 第1四半期 2013年4月~6月 (C)	対前年同期比増減 (C) - (A)		対直前四半期増減 (C) - (B)	
					増減	増減率(%)	増減	増減率(%)
売上高	コンデンサ	314	307	337	23	7.3	30	9.8
	インダクティブデバイス	282	312	350	68	24.1	38	12.2
	その他受動部品	318	425	483	165	51.9	58	13.6
	受動部品合計	915	1,044	1,170	255	27.9	126	12.1
	記録デバイス	599	576	602	3	0.5	26	4.5
	その他磁気応用製品	283	245	260	△ 23	△ 8.1	15	6.1
	磁気応用製品合計	882	821	862	△ 20	△ 2.3	41	5.0
	フィルム応用製品合計	232	286	286	54	23.3	0	0.0
	その他	58	54	47	△ 11	△ 19.0	△ 7	△ 13.0
	合計	2,087	2,205	2,365	278	13.3	160	7.3
営業利益	受動部品	△ 29	△ 39	28	57	-	67	-
	磁気応用製品	146	18	46	△ 100	△ 68.5	28	155.6
	フィルム応用製品	21	17	16	△ 5	△ 23.8	△ 1	△ 5.9
	その他	△ 4	△ 3	△ 8	△ 4	-	△ 5	-
	小計	134	△ 8	82	△ 52	△ 38.8	90	-
	全社および消去	△ 42	△ 30	△ 42	0	-	△ 12	-
	合計	92	△ 38	40	△ 52	△ 56.5	78	-
営業利益率		4.4%	-1.7%	1.7%	△ 2.7pt	-	3.4pt	-
為替	対ドルレート	80円27銭	92円20銭	98円74銭				
	対ユーロレート	103円18銭	121円74銭	128円96銭				

(億円)	2013年3月末	2013年6月末	増減	(参考) 2012年6月末
総資産	11,696	12,240	544	10,465
負債合計	5,890	6,150	260	5,618
株主資本	5,612	5,887	275	4,707
(うち包括利益)	△ 1,590	△ 1,270	320	△ 2,578
株主資本比率	48.0%	48.1%	+0.1pt	45.0%
現預金・短期投資残高 (*1)	2,235	2,448	213	1,708
有利子負債 (*2)	2,956	3,044	88	2,807
ネットキャッシュ (*3)	△ 721	△ 596	125	△ 1,099

\*1:現金及び現金同等物+短期投資

\*2:短期借入債務+一年以内返済予定の長期借入債務+長期借入債務

\*3:現預金・短期投資残高-有利子負債

(億円)	2013年3月期 第1四半期実績	2014年3月期 第1四半期実績	増減
固定資産の取得	239	144	△ 95
減価償却費	179	207	28

# 2014年3月期連結業績予想

(億円)	2013年3月期 通期実績	2014年3月期 通期予想	対前年同期比	
			増減	増減率(%)
売上高	8,516	9,300	784	9.2
営業利益	216	300	84	38.9
営業利益率	2.5%	3.2%	0.7pt	-
税引前利益	189	280	91	48.1
当期純利益	12	130	118	983.3
1株当たり利益(円)	9円50銭	103円34銭	-	-

- 2014年3月期の連結業績予想は、前回公表値（4月26日）から変更なし
- 第2四半期以降の平均為替レート想定  
対米ドル90円（前回想定から変更なし）  
対ユーロ118円（前回想定から変更なし）

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといたします。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

又、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は以下のページに後日掲載をいたします。  
[http://www.tdk.co.jp/ir/ir\\_events/conference/2014/1q\\_1.htm](http://www.tdk.co.jp/ir/ir_events/conference/2014/1q_1.htm)